学校だより 夏休み特別号 令和７年７月１８日

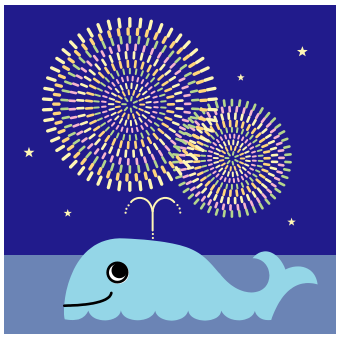
大田区立多摩川小学校 校長 福 地　伸

https://www.ota-school.ed.jp/tamagawa-es/
本校ＨＰにも 学校だより を掲載しています

夏休み特別企画

「多摩川小ウェルビーイングかるた」のことば 募集！

多摩川小学校　校長　福 地　伸



６月２７日、西日本では梅雨が明け、「関東地方も梅雨明けか？」と思うような暑い日が続いていましたが、前線が北上したり、台風が来たりしてはっきりしない天候が続いています。６月からの茹だるような暑さにもかかわらず、こどもたちはとても元気に活動してきました。

さて、梅雨明け目前、いよいよ４４日間の夏休み（全校登校日=8/29 を含む）を迎えます。この１学期を振り返ってみると……

４月７日、１学期「始業式・入学式」を実施しました。新１年生８８名を加えた全校児童５７４名、全１９学級での始業です。「今年の多摩川小は７０周年、さらにウェルビーイングな学校を目指そう！」とこどもたちに投げかけ、わくわくした気持ちで「多摩川小のハッピーバースデー」を歌いました。５～６年生が中心となって計画した「１年生を迎える会（4/16）」で全校児童が顔を合わせ、ゴールデンウィーク明けの５月７日からは運動会に向けての練習が本格化、３週間の練習期間にこどもたちは全力で取り組んでいました。そして、保護者・地域の皆様が見守る中、「70周年記念運動会 全力で取り組み、多摩小をみんなで盛り上げよう」のスローガン通りに力一杯に活動し、最後には「多摩川小のハッピーバースデー」を歌いました。4～7月にかけ「校外学習」や「遠足」、「伊豆高原移動教室（5年）」も実施、その都度、ひとまわりも ふたまわりも成長する姿を目にすることができました。１学期の間、日々の挨拶の励行、体調や栄養の管理、そして何よりも毎月一回以上本校へ足を運び、こどもたちの元気な姿を観に来ていただいた保護者ならびに地域の皆様のあたたかい眼差しに 心より感謝申し上げます。

さて、今年の夏休みは７月１９日～８月３１日まで。コロナ収束後からは「ラジオ体操」や「盆踊り大会」、「花火大会」などの地域や町会主催の行事にも多くのこどもたちが参加し、笑顔いっぱいで盛り上げています。「真夏日や熱帯夜」のために「夏休みの過ごし方」にも細心の注意が必要な昨今ですが、ご家庭でのルールをこどもと話し合って決め、有意義な４４日間にしていただければ幸いです。

終業式で私は「校長からの宿題」と題して、「多摩川小ウェルビーイングかるたのことば募集！」を発表しました。休み中に集まったことばを厳選し、「みんなで楽しめるかるたができたらいいな」と思っているのですが、全く見通しがなく投げかけているので完成するかも分かりません。詳しくは、右記ＱＲコードを読み取り、ぜひご家族で投稿してください。

先日（6/28）の学校公開で、こどもたちは前野マドカ先生から「あり・あり・なん・や」の合い言葉を教えていただきました。そのことばのもと、引き続き「ウェルビーイングな学校・地域づくり」に向けて取り組んでいます。夏休みにもぜひ「ありがとう」「ありのままに」「なんとかなる」「やってみよう」の気持ちを大切に、様々なことにチャレンジしてもらいたいと考えています。

最後に、以前から私がお話ししていることをお伝えします。今のこどもたちには「できる・できない」のように他者の判断ではなく、「する・しない」、「したい・したくない」、「できるようになりたい・できたら嬉しい」というような自分自身で決め、行動することが求められるようになっています。

「夏休みの自由研究」は、「やりなさい」ではなく、「自分の意志で、何かにチャレンジする」ことを大切に、保護者の皆様は、その「善きアドバイザー」に徹していただきたいと思います。大事なことは、計画と実践、そして振り返りです。こどもは、動き出すまでには少しの時間や支援を必要とします。私たち大人は人一倍旺盛な「好奇心」と取り組む「姿勢」を引き出し、それを支える存在になっていきましょう。

夏休み中、こどもたちをご家庭にお戻しします。規則正しい生活や家庭でのコミュニケーションを大切にお過ごしください。２学期に元気なこどもたちと再会することを楽しみにしています。

共催
スクールサポートたまがわ
多摩川小学校PTA

こどもたちの健やかな育成のために

拡大学校運営協議会
と
公開講座のご案内

「ウェルビーイング」ってなに？
学校・家庭・地域のウェルビーイング

7/28(月)

時間
9:00～12:00

会場
大田区立多摩川小学校 体育館

講師
前野 マドカ先生(写真右)
EVOL株式会社代表取締役CEO
武蔵野大学 ウェルビーイング学部 客員教授
一般社団法人ウェルビーイングデザイン 理事
ウェルビーイング(幸福学)研究の第一人者、
前野隆司氏(写真左)の妻。

みんなで考えてみませんか？

- こどものためにみんなでできることって？
- ウェルビーイングな学校づくりってどんなもの？
- 学校・家庭・地域つながることで見えてくる未来って？

グループワーク
実践可能なアイデアや課題
家庭教育として保護者ができること、学校や地域ができること、そしてどう連携できるのか、こどもたちとの関わり合いを見つめ直し、話し合います。

前野マドカ先生講演会
ウェルビーイングとはなにか？
なぜウェルビーイング(well-being)が教育現場で求められているのか？また、学校・家庭・地域における実践事例なども交えてご講演いただきます。

申し込みはこちら→

※参加申込時に取得する個人情報は、適切に取り扱い、講座に関わるご連絡にのみ使用します。

問い合わせ先: 03-3759-8331
(担当：多摩川小学校副校長　吉川)

令和7年度
大田区家庭・地域教育力向上支援事業
家庭教育学習会講師派遣

かちきょう
©大田区